

令和5年度 富士市ひとり親家庭等実態調査

結果報告書

令和6年3月

富士市こども未来部こども家庭課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果	
問 1	あなた（児童扶養手当受給資格者）は何歳ですか（令和 5 年 8 月 1 日現在）	2
問 2	児童扶養手当の受給要件を教えてください	2
問 3	ひとり親家庭になった時、あなたは何歳でしたか	3
問 4	ひとり親家庭になった時、一番下の子どもは何歳でしたか	3
問 5	ひとり親家庭になった理由は何ですか	3
問 6	相手方とは養育費の支払いや面会交流の取り決めをしましたか	4
問 7	取り決め以降、継続して行われていますか	4
問 8	あなたはあなたと子ども以外で誰と同居していますか	5
問 9	あなたの子どもの年齢についてそれぞれ人数を教えてください	5
問10	あなたの家庭全体のおおよその就労収入はどのくらいですか	6
問11	あなたは現在、児童扶養手当、生活保護、公的年金を受給していますか	6
問12	あなたの雇用形態を教えてください	7
問13	仕事をしていない理由を教えてください	8
問14	あなたはひとり親になって以降、転職をしましたか	8
問15	転職した理由は何ですか	8
問16	あなたは各種資格等をもっていますか	9
問17	あなたの住宅の種類は何ですか	10
問18	現在の暮らしの状態はどうか	10
問19	あなたの家庭では家事（ご飯の支度・洗濯・掃除など）を、主に誰がしますか	10
問20	現在、子どもについての悩みは何ですか	11
問21	現在、あなた自身の悩みは何ですか	11
問22	将来にもっとも不安を感じることは何ですか	11
問23	あなたが困ったときの相談相手は誰ですか	12

問24	あなたに用事があるときなど、子どもの世話を頼むことができる人は誰ですか	12
問25	直近の1年間で、親子でのレクリエーション活動（旅行・映画・スポーツなど）の機会がありましたか	12
問26	どうしてなかったのか理由を教えてください	13
問27	あなたの家庭では、子どもに何か習い事をさせていますか	13
問28	子ども全員にかかる習い事の費用は1ヵ月当たりどのくらいですか	13
問29	毎月決まった額の貯金をしていますか	14
問30	子どもの誕生日やクリスマスにプレゼントをあげていますか	14
問31	子どもにお小遣いをあげていますか	14
問32	子どもの進学についてどのような希望がありますか	15
問33	子どもの高校や大学等への進学のための資金として考えているもの（行っているもの）はありますか	15
問34	これまで、以下の支払いに困ったことがありますか	15
問35	そのとき、最初にどこに支援を求めましたか	16
問36	生活が苦しいときに最初に切り詰めるものはなんですか	16
問37	税金や公共料金（電気・ガス・水道）を滞納したことがありますか	16
問38	次の福祉サービスやひとり親家庭等に対する支援制度を利用されたことがありますか	17
問39	あなたが必要だと思う支援はどのようなことですか	18
結果のまとめ		19
Ⅲ 実態調査アンケート用紙		20

I 調査の概要

1 調査の目的

(1) この調査は、富士市のひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）等の生活実態と保護者の意識を調査し、今後のひとり親家庭等の福祉施策推進の基礎資料作りを目的とする。

(2) 富士市では平成20年、平成25年、平成29年に実態調査を行っており、5年ごとにひとり親家庭等の実態がどのように変化したかを把握することを目的とする。

2 調査対象及び回収

調査対象は、「児童扶養手当受給資格者」とした。

(1) 調査対象 1, 670人

児童扶養手当受給資格者・・・ 1, 670人

(2) 回収状況 回収件数：543件 回収率：32.5%

3 調査方法

令和5年8月2日から31日まで実施された児童扶養手当の現況届提出時に、電子申請システム「LoGoフォーム」から回答してもらった。また、電子申請が利用できない対象者にはこども家庭課の窓口でアンケート用紙に記入してもらい回収した。

4 調査期間

令和5年8月2日～8月31日

5 調査の実施主体

富士市こども未来部こども家庭課

6 調査の内容について

平成29年と令和5年との比較を行う必要から、一部の調査項目は平成29年の調査項目を使用した。新たに調査を行う項目については新規に作成した。

7 表中の表記について

(1) 回答総数が年度により異なるため、「平成29年」と「令和5年」の回答比率により対比している。

(2) 「3つまで選んでください」などの複数回答を求めた場合の集計及びグラフ表示は、総回答数を100%とした。

(3) 今回の調査で新たに設けた質問項目には、「令和5年」の表示だけであり、「平成29年」の数値及びグラフの表示はない。

8 今後の調査実施について

(1) ひとり親家庭等の実態を把握するために今後も継続的に調査を実施する。

(2) 次回の調査は概ね5年後を予定するが、こども家庭庁及び静岡県の調査実施時期と重複する場合には、適切な時期に実施するものとする。

Ⅱ 調査結果

調査対象：1, 670人

回収総数：543人

母子家庭：95.6%（519人）

父子家庭：3.5%（19人）

その他家庭：0.9%（5人）

回収率：32.5%

問1 あなた（児童扶養手当受給資格者）は何歳ですか（令和5年8月1日現在）。

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
平成29年	4.1%	2.0%	6.2%	14.2%	22.4%	26.9%	18.6%	4.5%	0.9%	0.2%
令和5年	0.6%	1.6%	3.7%	13.0%	23.4%	27.2%	21.4%	7.7%	1.2%	0.2%

「40～44歳」が27.2%で最も多く、次いで「35～39歳」が23.4%、「45～49歳」が21.4%、「30～34歳」が13.0%となっています。

問2 児童扶養手当の受給要件を教えてください。

	母子家庭 (離婚・死別・未婚等)	父子家庭 (離婚・死別・未婚等)	父が障害の家庭	母が障害の家庭	両親が障害の家庭	養育者の家庭
平成29年	96.0%				3.3%	0.4%
令和5年	95.6%				3.5%	0.9%

「母子家庭（離婚・死別・未婚等）」が95.6%で最も多く、「父子家庭（離婚・死別・未婚等）」は3.5%となっています。

問3 ひとり親家庭になった時、あなたは何歳でしたか。

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
平成29年	1.9%	11.0%	18.4%	25.0%	25.3%	14.3%	3.5%	0.3%	0.3%	
令和5年	1.9%	6.1%	17.1%	27.5%	24.3%	15.0%	6.9%	0.6%	0.4%	0.2%

「30～34歳」が27.5%で最も多く、次いで「35～39歳」が24.3%、「25～29歳」が17.1%となっています。

問4 ひとり親家庭になった時、一番下の子どもは何歳でしたか。

	1歳未満	1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16歳以上
平成29年	18.4%	36.5%	18.0%	13.7%	8.1%	4.3%	1.0%
令和5年	16.8%	35.8%	22.7%	11.7%	9.1%	2.8%	1.1%

「1～3歳」が35.8%で最も多く、次いで「4～6歳」が22.7%、「1歳未満」が16.8%、「7～9歳」が11.7%となっています。

問5 ひとり親家庭になった理由は何ですか。

	死別	離婚	未婚	遺棄 (行方不明)	拘禁	その他
平成29年	0.3%	92.5%	6.3%	0.3%	0.1%	0.5%
令和5年	0.9%	91.1%	7.2%	0.6%	0.2%	

「離婚」が91.1%で最も多く、次いで「未婚」が7.2%となっています。

問6 問5で「離婚」または「未婚」と答えた方に伺います。
相手方とは養育費の支払いや面会交流の取り決めをしましたか。

	養育費と面会交流を取り決めている	養育費のみしている	面会交流のみしている	両方ともしていない
令和5年	29.5%	17.4%	7.2%	45.9%

「両方ともしていない」が45.9%で最も多く、次いで「養育費と面会交流を取り決めている」が29.5%、「養育費のみしている」が17.4%となっています。

問7 問6で「養育費と面会交流を取り決めている。」、「養育費のみしている。」、「面会交流のみしている。」と答えた方に伺います。取り決め以降、継続して行われていますか。

	養育費の支払いも面会交流も継続している	養育費のみ継続している	面会交流のみ継続している	両方とも途絶えている
令和5年	38.4%	32.2%	12.6%	16.8%

「養育費の支払いも面会交流も継続している」が38.4%で最も多く、次いで「養育費のみ継続している」が32.2%、「両方とも途絶えている」が16.8%となっています。当初取り決めた養育費の支払いは、70.6%継続して支払われています。

●養育費が途絶えている理由

- ・支払能力がない
- ・支払拒否
- ・連絡がつかない
- ・支払期間の満了
- ・わからない など

●面会が途絶えている理由

- ・子どもが会いたがらない
- ・相手方の再婚
- ・連絡がつかない
- ・面会頻度が自然に減少していった
- ・コロナ禍で面会がなくなった など

問 8 あなたはあなたと子ども以外で誰と同居していますか。

	あなたと子ども以外で同居あり								あなたと子どものみ										
令和 5 年	34,6%								65,4%										
	母	父	兄弟姉妹	その他	母	父	兄弟姉妹	その他	母	父	兄弟姉妹	その他	母	父	兄弟姉妹	その他			
令和 5 年	25,0%				6,4%	0,5%	6,4%	38,8%				6,9%	1,1%	0,5%	8,0%	3,2%	1,6%	0,5%	1,1%

「あなたと子どものみ」は65.4%で、「あなたと子ども以外で同居あり」は34.6%でした。「あなたと子ども以外で同居あり」は、「母と父」が38.8%で最も多く、次いで「母」が25.0%、「母と父と兄弟姉妹」が8.0%、「母と兄弟姉妹」が6.9%となっています。前回の調査結果もほぼ同じ割合となっています。

問 9 あなたの子どもの年齢についてそれぞれ人数を教えてください。

世帯別の子どもの人数

		1人	2人	3人	4人	5人		
令和 5 年								
		43,4%		37,5%		15,0%	3,0%	1,1%

子どもの人数別の子どもの年齢構成

0歳～未就学児		小学生		中学生		高校生		大学・専門学校生等		社会人（無職・アルバイト含む）	
子ども1人世帯											
	20,0%	40,9%				22,1%		16,2%		0,4%	0,4%
子ども2人世帯											
	10,3%	33,2%			22,4%		20,0%		5,7%	8,4%	
子ども3人世帯											
	7,8%	25,5%		24,3%		21,8%		8,7%	11,9%		

	0歳～未就学児	小学生	中学生	高校生	大学・専門学生等	社会人（無職・アルバイト含む）
子ども4人世帯	4,7%	28,1%	25,0%	17,2%	9,4%	15,6%
子ども5人世帯	10,0%	30,0%	16,7%	26,6%	16,7%	

「子ども1人世帯」が43,4%で最も多く、次いで「子ども2人世帯」が37,5%、「子ども3人世帯」が15,0%となりました。

問10 あなたの家族全体のおおよその就労収入はどのくらいですか。

	100万円未満	100～200万円	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500万円以上
平成29年	13,4%	37,1%	32,0%	11,2%	4,4%	1,9%
令和5年	13,1%	32,2%	33,5%	12,5%	5,7%	3,0%

「200～300万円」が33,5%で最も多く、次いで「100～200万円」が32,2%、「100万円未満」が13,1%となっています。前回の調査と比べ、若干ではありますが世帯年収の増加が見られました。

問11-1 あなたは現在、児童扶養手当、生活保護、公的年金を受給していますか。 【児童扶養手当】

	全部支給	一部支給	受給していない
令和5年	38,7%	49,9%	11,4%

「一部支給」が49,9%で最も多く、次いで「全部支給」が38,7%、「受給していない」が11,4%となっています。

問 1 1-2 【生活保護】

	受給中・申請中	受給していない
平成 2 9 年	2.8%	97.2%
令和 5 年	3.1%	96.9%

「受給中・申請中」が 3.1%で、「受給していない」が 96.9%となっています。前回と比べ、大きな割合の変化はありませんでした。

問 1 1-3 【公的年金】

	老齢年金	遺族年金	障害年金	受給していない
令和 5 年	0.2%	0.5%	1.1%	98.2%

「受給していない」が 98.2%で最も多く、次いで「障害年金」が 1.1%、「遺族年金」が 0.5%、「老齢年金」が 0.2%となっています。

問 1 2 あなたの雇用形態を教えてください。

	正社員	派遣社員	パート・ アルバイト等	会社などの役員	自営業	家族従業者	内職	無職	その他		
平成 2 9 年											
	39,2%		8,4%	39,4%				0,6 %	3,3 %	0,3 %	6,0 %
令和5年											
	42,9%		8,3%	34,3%				0,2 %	3,7 %	0,2 %	6,4 %

「正社員」が 42.9%で最も多く、前回の調査より 3.7ポイント増加しています。次いで「パート・アルバイト等」が 8.3%、「派遣社員」が 8.3%、「無職」が 6.4%となっています。

問 1 3 問 1 2 で「無職」と答えた方に伺います。仕事をしていない理由を教えてください。

	子育てに専念	疾病・体調不良	家族の介護	希望する仕事先がない	雇用先都合による解雇	職業訓練・資格勉強等	就職活動中
令和 5 年	37.1%	34.3%	8.6%	5.7%	5.7%	5.7%	2.9%

「子育てに専念」が 37.1% で最も多く、次いで「疾病・体調不良」が 34.3%、「家族の介護」が 8.6% となっています。

問 1 4 あなたはひとり親になって以降、転職をしましたか。

	転職をした	転職をしない
平成 29 年	47.0%	53.0%
令和 5 年	54.9%	45.1%

「転職をした」が 54.9% に増加し、「転職をしない」が 45.1% となっており、転職をした方の割合が前回調査から 7.9 ポイント上昇しています。

問 1 5 問 1 4 で「転職をした」と答えた方に伺います。転職をした理由は何ですか。

	収入が低い	勤務地が遠い	健康上の問題	仕事内容があわない	職場環境になじめない	労働時間があわない	社会保険に入れない	休みがとりにくい	身分が安定していない	経験・能力が発揮できない	離婚に伴う自営業等の退職	その他
令和 5 年	22.8%	5.1%	5.7%	8.1%	8.8%	13.8%	6.2%	13.0%	4.4%	2.2%	0.8%	9.1%

「収入が低い」が 22.8% で最も多く、次いで「労働時間があわない」が 13.8%、「休みがとりにくい」が 13.0% となっています。

問 1 6 あなたは各種資格等をもっていますか。

	持っている	ほしいと思っているが 持っていない	持っていない または必要と感じていない
令和 5 年	47.9%	26.5%	25.6%
	所有する資格は 現在の仕事に直接役立っている	所有する資格は 現在の仕事に直接役立っていない	
令和 5 年	66.5%	33.5%	

資格を「持っている」が 47.9%で、「ほしいと思っているが持っていない」が 26.5%と、「持っていない、または必要と感じていない」が 25.6%となっています。また所有する資格が現在の仕事に直接役立っているかどうかについて「役立っている」が 66.5%、「役立っていない」が 33.5%となっています。

●所有している資格

- ・ 事務に関する資格（語学系、貿易実務検定、簿記検定、秘書検定、FP検定、MOS検定、情報処理など）
- ・ 医療関係の資格（医療事務、調剤薬局事務、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床検査技師など）
- ・ 教育関係の資格（教員免許、保育士、幼稚園教諭など）
- ・ 福祉関係の資格（社会福祉士、ケアマネージャー、介護福祉士など）
- ・ 食に関する資格（調理師免許、栄養士、食生活アドバイザーなど）
- ・ 製造業や運送業に関する資格（フォークリフト、大型自動車運転免許、危険物取扱者など）
- ・ 美容に関する資格（美容師、ネイリスト、上級認定エステティシャンなど）
- ・ その他の資格（着付け、古物商、ガーデニングコンシェルジュ、登録販売者、図書館司書など）

●取得したい資格

- ・ 収入の増加につながる資格
- ・ 現在の業務に活かせる資格
- ・ 転職やキャリアアップに有利な資格

〔具体的な資格名称〕

語学系、簿記検定、情報処理、CAD、医療事務、看護師、歯科衛生士、医師、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士、ケアマネージャー、介護福祉士、栄養士、フォークリフト、大型自動車運転免許、美容師、登録販売者、図書館司書、宅地建物取引士、行政書士、社会保険労務士、税理士、インテリアコーディネーター、パティシエ など

問 1 7 あなたの住宅の種類は何ですか。

	持ち家 (実家含む)	民間のアパート・借家	公営住宅	社宅・官舎	間借り	その他
平成 2 5 年		38,6%	40,5%	14,3%	0,5%	1,9%
令和 5 年		42,4%	45,3%	9,0%	0,6%	2,0%

「民間のアパート・借家」が 4 5, 3 %で最も多く、次いで「持ち家」が 4 2, 4 %、「公営住宅」が 9, 0 %となっています。前回より公営住宅が 5, 3 ポイント減少し、民間の借家が 4, 8 ポイント増加しています。

問 1 8 現在の暮らしの状態はどうか。

	楽	やや楽	普通	やや苦しい	苦しい	わからない
平成 2 9 年	0,6%	1,6%	24,2%	41,3%	31,7%	0,6%
令和 5 年	2,0%	3,1%	24,3%	35,7%	33,0%	1,9%

「やや苦しい」が 3 5, 7 %で最も多く、次いで「苦しい」が 3 3, 0 %、「普通」が 2 4, 3 %となっています。「やや苦しい」及び「苦しい」との回答が全体の 6 8, 7 %を占めており、前回よりも 4, 3 ポイント減少しています。

問 1 9 あなたの家庭では家事（ご飯の支度・洗濯・掃除など）を、主に誰がしますか。

	あなた自身	子ども	あなたの親	親族	ヘルパー	その他
平成 2 9 年					0,5%	11,4%
令和 5 年					0,2%	15,3%

平成 2 9 年と比較して、令和 5 年は「親族」が増加しており、「あなた自身」と「子ども」が減少しています。「あなた自身」が 8 2, 7 %で最も高くなっており、前回の調査と変わりありません。

問 2 0 現在、子どもについての悩みは何ですか（主なものを3つまで）。

前回調査より「発達や障害」、「親子関係」、「いじめ」、「家庭内暴力」の回答が追加されています。

	教育・ 進学	しつけ ・習慣	食生活	就職	病気	発達や 障害	親子 関係	衣服・ 身の回 り	友人 関係	異性 問題	不登校	いじめ	非行	家庭内 暴力	金銭 問題	ゲーム 依存	スマホ 依存	パソコン 依存	その他	ない		
平成 2 9 年																						
	36.0%					19.1%				5.2%	4.2%	3.6 %	0.4 %	1.7 %	2.0 %	0.4 %	3.3 %	8.8%	4.1%	5.4%	0.3 %	1.3 %
令和 5 年																						
	31.6%				15.5%		8.8%	3.5 %	3.3 %	7.2%	1.8 %	2.6 %	0.2 %	1.7 %	0.7 %	0.2 %	0.5 %	5.5%	4.7%	7.6%	0.4 %	4.2%

「教育・進学」が 3 1. 6%で最も多く、次いで「しつけ・習慣」が 1 5. 5%、「食生活」が 8. 8%、「スマホ依存」が 7. 6%となっています。

問 2 1 現在、あなた自身の悩みは何ですか（主なものを3つまで）。

	家事が できない	病気	家計	住まい	仕事・職場 の人間関係	借金	異性問題	再婚	親戚関係	近隣関係	その他	ない						
平成 2 9 年	8.9%	9.8%	36.9%					6.3%	19.5%			4.8%	0.3 %	1.3 %	2.0 %	1.1 %	3.6 %	5.5%
令和 5 年	6.2%	8.1%	36.2%					10.6%	11.2%			5.6%	1.8 %	2.3 %	0.3 %	4.7%	13.0%	

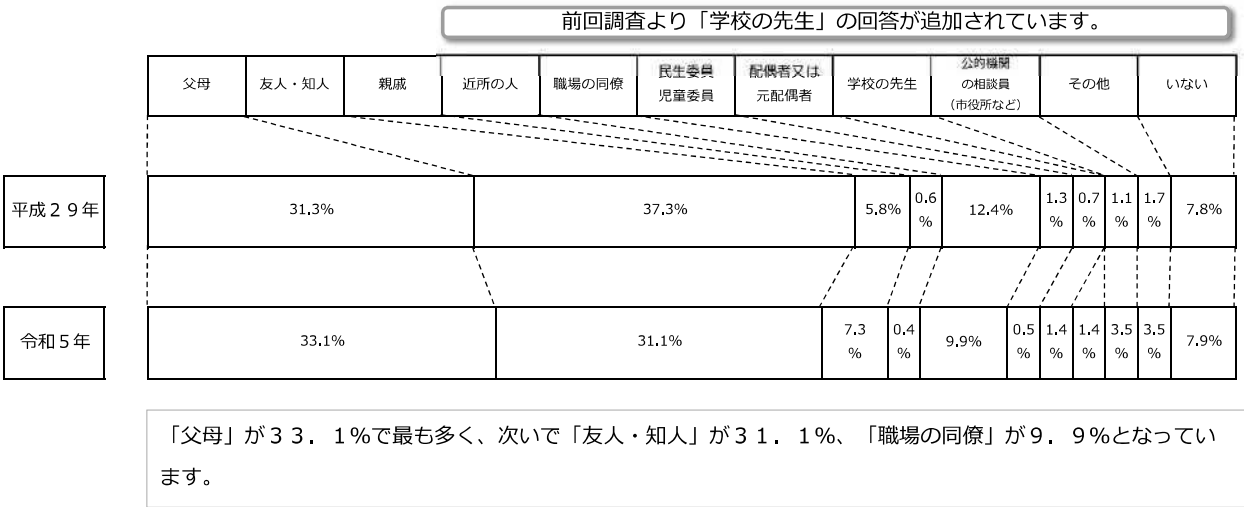
「家計」が 3 6. 2%で最も多く、次いで「仕事・職場の人間関係」が 1 1. 2%、「住まい」が 1 0. 6%、「病気」が 8. 1%となっています。前回と比較して、「住まい」の悩みが 4. 3ポイント増加しています。

問 2 2 将来にもっとも不安を感じることは何ですか。

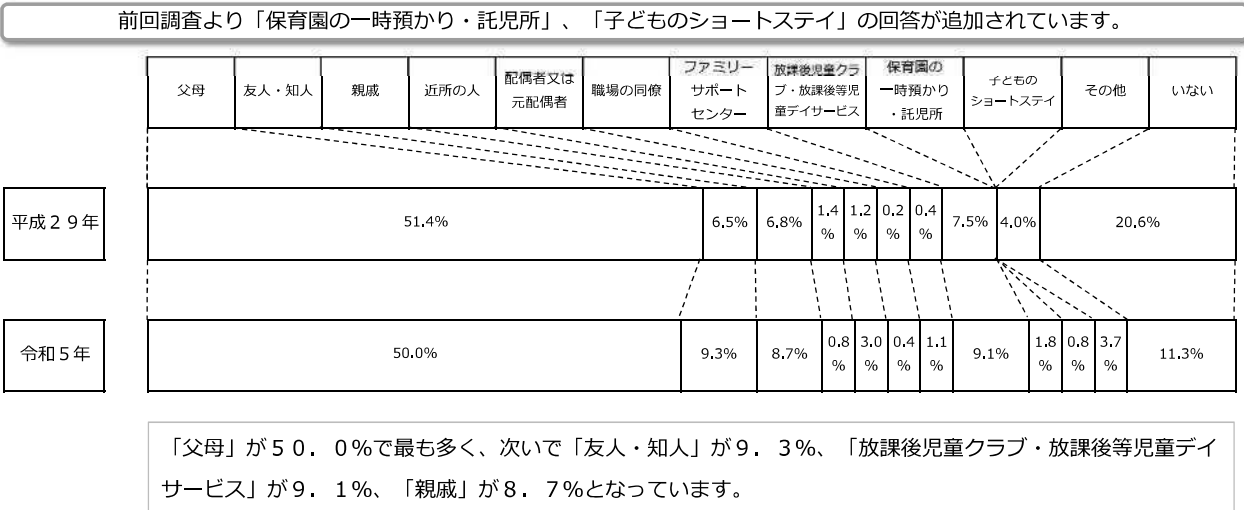
	老後	健康	家計	住居	仕事	貯蓄	子ども	その他	わからない	ない				
平成 2 9 年	29.2%			7.3%	19.6%		1.9 %	3.2 %	20.1%		13.0%	0.4 %	3.8 %	1.5 %
令和 5 年	17.1%		7.0%	27.1%		2.2 %	3.3 %	21.9%		16.0%	0.6 %	3.3 %	1.5 %	

「家計」が 2 7. 1%で最も多く、次いで「貯蓄」が 2 1. 9%、「老後」が 1 7. 1%となっています。前回より「家計」が大きく増加し、「老後」が減少となっています。

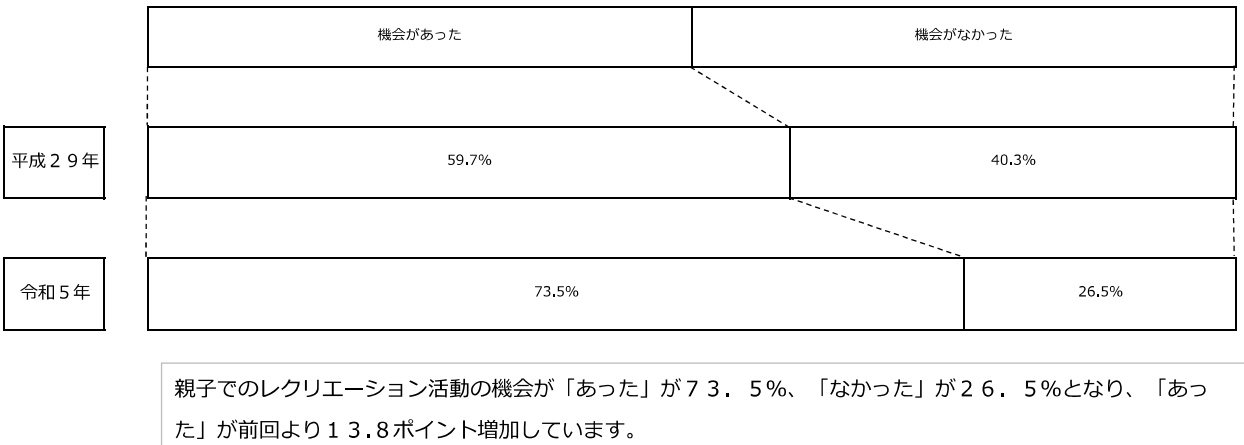
問 2 3 あなたが困ったときの相談相手は誰ですか（主なものを3つまで）。



問 2 4 あなたに用事があるときなど、子どもの世話を頼むことができる人は誰ですか（主なものを3つまで）。



問 2 5 直近の1年で、親子でのレクリエーション活動（旅行・映画・スポーツなど）の機会はありましたか。



問 2 6 問 2 5 で「なかった」と答えた方に伺います、どうしてなかったのか理由を教えてください（主なものを 3 つまで）。

	仕事が忙しかったから	休みの日は体を休めたいから	子どもが外出したがるから	親または子どもが病気がちだから	子どもの部活や習い事などで忙しいから	でかけるのが面倒だから	経済的に余裕がないから	子どもが嫌がるから	その他
平成 2 9 年	27.9%	12.5%	3.1%	3.3%	13.2%	1.1%	30.8%	2.8%	5.3%
令和 5 年	14.9%	9.6%	5.8%	5.3%	5.3%	2.4%	50.0%		6.7%

「経済的に余裕がないから」が 5 0 . 0 %で最も多く、前回の調査と比較して 1 9 . 2 ポイント増加しています。次いで「仕事が忙しかったから」が 1 4 . 9 %、「休みの日は体を休めたいから」が 9 . 6 %となっています。

問 2 7 あなたの家庭では、子どもに何か習い事をさせていますか。

	ピアノなどの音楽	スイミングなどのスポーツ	学習塾	習字・そろばん	英会話	その他	特にない
平成 2 9 年	6.0%	14.1%	19.7%	4.2%	4.7%	4.7%	46.6%
令和 5 年	5.3%	16.4%	17.2%	5.3%	5.9%	5.0%	44.9%

「特にない」が最も多く 4 4 . 9 %となっています。次いで「学習塾」が 1 7 . 2 %、「スイミングなどのスポーツ」が 1 6 . 4 %、「英会話」が 5 . 9 %となっています。

問 2 7 で習い事をさせていると答えた方に伺います。

問 2 8 子ども全員にかかる習い事の費用は 1 カ月当たりどのくらいですか。

	3 万円以上	2 ～ 3 万円	1 ～ 2 万円	5 千円～ 1 万円	5 千円未満
平成 2 9 年	10.6%	22.3%	31.0%	23.2%	12.9%
令和 5 年	15.3%	25.9%	28.6%	21.6%	8.6%

「1 ～ 2 万円」が 2 8 . 6 %で最も多くなり、次いで「2 万円～ 3 万円」が 2 5 . 9 %、「5 千円～ 1 万円」が 2 1 . 6 %となっています。

問２９ 毎月決まった額の貯金をしていますか。

	貯金をしている	貯金をしていない
平成２９年	27.4%	72.6%
令和５年	27.1%	72.9%

毎月決まった額の貯金を「している」が２７．１％で、「していない」が７２．９％となっています。

問３０ 子どもの誕生日やクリスマスにプレゼントをあげていますか。

前回調査より「どちらかは必ずあげている」の回答が追加されています。

	両方、必ずあげている	どちらかは必ずあげている	必要でないからあげていない	経済的にあげられないときがある	その他	あげていない
平成２９年	62.5%	1.3%	27.6%	8.6%		
令和５年	58.0%	18.0%	1.5%	21.2%	1.3%	

「両方、必ずあげている」が５８．０％で最も多く、次いで「経済的にあげられないときがある」が２１．２％、「どちらかは必ずあげている」が１８．０％、「必要でないからあげていない」が１．５％となっています。

問３１ 子どもにお小遣いをあげていますか。

	毎月決まった額を渡している	毎週決まった額を渡している	必要なときに必要な金額を渡している	特に渡していない	その他
平成２９年	24.2%	1.2%	35.7%	38.9%	
令和５年	23.8%	0.7%	41.2%	30.4%	3.9%

「必要なときに必要な金額を渡している」が４１．２％で最も多く、次いで「特に渡していない」が３０．４％、「毎月決まった額を渡している」が２３．８％となっています。

問３２ 子どもの進学についてどのような希望がありますか。

	大学まで進んでほしい	高校まで進んでほしい	中学を卒業したら働いてほしい	その他
平成２９年	45.1%		43.5%	0.5% 10.9%
令和５年	47.7%		40.9%	0.2% 11.2%

「大学まで進んでほしい」が４７．７％で最も多く、前回の調査と比較して２．６ポイント増加しました。次いで「高校まで進んでほしい」が４０．９％となっています。

問３３ 子どもの高校や大学等への進学のための資金として考えているもの（行っているもの）はありますか（該当するもの全てを選んでください）。

	学資保険	貯金	奨学金	教育ローン	母子寡婦福祉資金	実家などの親族からの援助	特になし
平成２９年	23.3%	26.1%	25.9%	8.7%	7.3%	3.2%	5.5%
令和５年	22.5%	29.4%	24.8%	9.3%	7.5%	1.9%	4.6%

「貯金」が２９．４％で最も多く、次いで「奨学金」が２４．８％、「学資保険」が２２．５％となっています。

問３４ これまで、以下の支払いに困ったことがありますか（該当するもの全てを選んでください）。

	給食費	中学・高校・大学等の入学準備	学用品の購入	家賃	電気・ガスなどの光熱水費	スマートフォンなどの利用料	医療費	衣類の購入	食べ物の購入	その他	困ったことはない
平成２９年	5.1%	8.1%	9.6%	13.6%	11.7%	7.8%	5.7%	8.7%	10.7%	4.4%	14.6%
令和５年	4.2%	14.4%	11.6%	8.8%	12.9%	7.9%	4.5%	9.1%	9.0%	2.1%	15.5%

「中学・高校・大学等の入学準備」が１４．４％で最も多く、次いで「電気・ガスなどの光熱水費」が１２．９％、「学用品の購入」が１１．６％となっています。一方で「困ったことはない」が１５．５％となっています。

問 3 5 問 3 4 で困ったことがあると答えた方に伺います。
そのとき、最初にどこに支援を求めましたか。

	元夫（妻）または 子どもの父親（母親）	実家などの親族	友人・知人	市役所または社会福祉協議会	その他
平成 2 9 年	1.5 %	51.2 %	8.2 %	4.8 %	34.3 %
令和 5 年	4.7 %	50.1 %	4.4 %	14.5 %	26.3 %

「実家などの親族」が 5 0 . 1 % で最も多く、「市役所または社会福祉協議会」が 1 4 . 5 %、「元夫（妻）または子どもの父親（母親）」が 4 . 7 % となっています。

問 3 6 生活に苦しいときに最初に切り詰めるものはなんですか。

	外食や遊戯代	食べ物の購入	衣服代	子どもの学用品	子どものおもちゃなど	親の医療費	その他
平成 2 9 年	51.3 %	27.6 %	10.4 %	0.3 %	1.2 %	7.5 %	1.7 %
令和 5 年	59.1 %	13.1 %	10.3 %	0.4 %	2.2 %	12.7 %	2.2 %

「外食や遊戯代」が 5 9 . 1 % で最も多く、次いで「食材の購入」が 1 3 . 1 %、「親の医療費」が 1 2 . 7 %、「衣服代」が 1 0 . 3 % となっています。

問 3 7 税金や公共料金（電気・ガス・水道）を滞納したことがありますか。

	一度もない	これまでに数回ある	毎月遅れて支払っている	その他
平成 2 9 年	52.7 %	30.4 %	14.5 %	2.4 %
令和 5 年	66.3 %	26.2 %	6.6 %	0.9 %

「一度もない」が 6 6 . 3 % で最も多く、次いで「これまでに数回ある」が 2 6 . 2 %、「毎月遅れて支払っている」が 6 . 6 % となっています。約 3 3 % の家庭で滞納したことがあるという結果になっています。

問 3 8 次の福祉サービスやひとり親家庭等に対する支援制度を利用されたことがありますか。

	利用したことがある	知っているが利用したことがない	知らない
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	5.9%	49.9%	44.2%
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	3.3%	46.6%	50.1%
子育て短期支援事業	1.8%	20.1%	78.1%
母子生活支援施設	0.2%	19.5%	80.3%
母子父子寡婦福祉資金	3.7%	14.9%	81.4%
ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	0.4%	25.2%	74.4%
ファミリーサポートセンター・延長保育・病児保育の減免制度	6.8%	23.0%	70.2%
生活支援課の学習支援事業	5.5%	22.3%	72.2%
小・中学校の就学援助制度	47.9%	25.6%	26.5%
ひとり親家庭の会	5.9%	21.7%	72.4%
産後ケア事業	1.1%	12.3%	86.6%
はぐくむFUJI家事・育児サポート事業	0.7%	23.0%	76.3%

「小・中学校の就学援助制度（学用品費・給食費などの援助制度）」を「利用したことがある」が47.9%で最も利用されています。「小・中学校の就学援助制度（学用品費・給食費などの援助制度）」及び「ひとり親家庭等自立支援教育訓練給付金」を除くと、「知らない」と回答した方が半数以上を占めています。

問 3 9 あなたが必要だと思う支援はどのようなことですか。

	保育園・幼稚園等や学校の費用の軽減	放課後等の学習支援	子どもの居場所づくり	奨学金制度の充実	住宅確保支援	親の就業のための支援	医療や健康に関わるサポート	生活保護や就学援助などの拡充	一時的に必要な資金を借りることができる制度	子ども食堂	保育園への送迎サービス	24時間365日相談できるサービス	気軽に子どもを預けることができるサービス	その他
令和5年	14.0%	8.3%	7.3%	17.4%			8.8%	5.6%	7.9%	9.2%	7.0%	3.7%	8.5%	2.3%

「奨学金制度の充実」が17.4%で最も多く、次いで「保育園・幼稚園等や学校の費用の軽減」が14.0%、「生活保護や就学援助などの拡充」が9.2%、「気軽に子どもを預けることができるサービス」が8.5%となっています。

<結果のまとめ>

- ・ 今回の調査から離婚時に養育費や面会交流の取り決めをしているか伺いました。両方とも取り決めている世帯は全体の約3割、養育費の取り決めをしている世帯は全体の5割近くとなっており、両親の子どもの養育に対する金銭的な関心度が伺えました。一方で面会交流については各々の事情により3割程度となっています。
- ・ 前回の調査後、コロナ禍で経済情勢が不安定になり、ひとり親家庭への影響も大きかったものと推察されますが、家族全体の年収を見ると令和5年度には持ち直している様子も伺えます。一方で経済的に余裕がなく、子どもへのプレゼントをあげられなかったり、進学の際の大きな出費等に困っている家庭もあります。
- ・ ひとり親家庭の就労については、ひとり親になってから、より収入の高い仕事へ転職を選択された方が多く、各種資格を取得し仕事に活用している状況があります。
- ・ 子どもについての悩みはより分散化され、現在の子どもを巡る生活環境の多様さが伺えます。
- ・ 福祉サービスの周知度については、7割の事業について「知っている」と回答した方が前回の調査より増加していましたが、全ての事業で「知らない」と回答した方が7割を超えており、今後の周知活動の強化が求められます。

【富士市】ひとり親家庭等実態調査アンケート

1 あなた（児童扶養手当受給資格者）は何歳ですか。

歳

2 児童扶養手当の受給要件を教えてください。

①母子家庭 ②父子家庭 ③父または母が障害の家庭 ④養育者の家庭

2で①「母子家庭」②「父子家庭」以外と答えた方は問8へお進みください。

3 ひとり親家庭になった時、あなたは何歳でしたか。

歳

4 ひとり親家庭になった時、一番下の子どもは何歳でしたか。

歳

5 ひとり親家庭になった理由は何ですか。

①死別 ②離婚 ③未婚 ④遺棄（行方不明） ⑤拘禁 ⑥その他（ ）

5で②離婚または③未婚と答えた方に伺います。

6 相手方とは養育費の支払いや面会交流の取り決めをしましたか。

①養育費と面会交流を取り決めている ②養育費のみしている ③面会交流のみしている
④両方ともしていない

6で①、②、③と答えた方に伺います。

7 取り決めで以降、継続して行われていますか。

①養育費の支払いも面会交流も継続している ②養育費のみ継続している ③面会交流のみ継続している
④両方とも途絶えている⇒途絶えている理由（ ）

8 あなたはあなたと子ども以外で誰と同居していますか。あてはまるものすべてお答えください。

①他の同居人はいない ②あなたの母 ③あなたの父 ④あなたの兄弟姉妹 ⑤その他（ ）

9 あなたの子どもの年齢についてそれぞれ人数を教えてください。

①0歳～未就学児（ ）人 ②小学生（ ）人 ③中学生（ ）人 ④高校生（ ）人
⑤大学・専門学校等（ ）人 ⑥社会人（無職・アルバイト含む）

10 あなたの家庭全体のおおよその就労収入はどのくらいですか。

①100万円未満 ②100万円未満～200万円 ③200万円未満～300万円
④300万円未満～400万円 ⑤400万円未満～500万円 ⑥500万円以上

1 1 あなたは現在、児童扶養手当、生活保護、公的年金を受給していますか。

- ①児童扶養手当 （全部支給、一部支給、受給していない）
- ②生活保護 （受給中 、受給していない 、申請中）
- ③公的年金 （遺族年金、障害年金、老齢年金、受給していない）

1 2 あなたの雇用形態を教えてください。

- ①正社員 ②派遣社員 ③パート・アルバイト等 ④会社などの役員 ⑤自営業
- ⑥家族従業者 ⑦内職 ⑧その他 ⑨無職

1 2 で⑨無職と答えた方に伺います。

1 3 仕事をしていない理由を教えてください。

- ①体調不良 ②子育て ③親などの介護 ④希望する仕事先がない ⑤仕事をしたくない
- ⑥その他（ ）

1 4 あなたはひとり親になって以降、転職をしましたか。

- ①した ②していない

1 4 で「転職した」と答えた方に伺います。

1 5 転職した理由は何ですか。（複数回答可）

- ①収入がよくなかった ②勤め先が遠かった ③健康上の問題 ④仕事の内容があわなかった
- ⑤職場環境になじめなかった ⑥労働時間があわなかった ⑦社会保険がなかった
- ⑧休みが取りづらかった ⑨身分が安定していなかった ⑩経験や能力が発揮できなかった。
- ⑪自営業等で就業していたが離婚したから ⑫その他（ ）

1 6 あなたは各種資格等をもっていますか。

- ①持っている（資格の名称 ）
（現在の仕事に直接役立っている 役立っていない）
- ②ほしいと思っているが持っていない
⇒どんな資格を取りたいと思っていますか。（ ）
- ③持っていないまたは必要と感じていない

1 7 あなたの住宅の種類は何ですか。

- ①持ち家（実家含む） ②民間のアパート・借家 ③公営住宅 ④社宅・官舎 ⑤間借り
- ⑥その他（ ）

1 8 現在の暮らしの状態はどうですか。

- ①楽 ②やや楽 ③普通 ④やや苦しい ⑤苦しい ⑥わからない

1 9 あなたの家庭では家事（ご飯の支度・洗濯・掃除など）を、主に誰がしますか

- ①あなた自身 ②あなたの親 ③子ども ④親族 ⑤ヘルパー
- ⑥その他（ ）

20 現在、子どもについての悩みは何ですか。（主なものを3つまで）

- ①教育・進学 ②しつけ・習慣 ③食生活 ④就職 ⑤病気 ⑥発達や障害 ⑦親子関係
⑧友人関係 ⑨異性関係 ⑩不登校 ⑪いじめ ⑫非行 ⑬家庭内暴力 ⑭金銭問題
⑮ゲーム依存 ⑯スマホ依存
⑰その他（ ）
⑱悩みはない

21 現在、あなた自身の悩みは何ですか。（主なものを3つまで）

- ①家事ができない ②病気 ③家計 ④住まい ⑤仕事・職場の人間関係 ⑥借金 ⑦異性問題
⑧再婚 ⑨親戚関係 ⑩近隣関係 ⑪その他（ ）
⑫ない

22 将来にもっとも不安を感じることは何ですか。1つだけお答え下さい。

- ①老後 ②健康 ③家計 ④住居 ⑤仕事 ⑥貯蓄 ⑦子ども ⑧その他
⑨わからない ⑩ない

23 あなたが困ったときの相談相手は誰ですか。（主なものを3つまで）

- ①父母 ②友人・知人 ③親戚 ④近所の人 ⑤職場の同僚 ⑥民生委員児童委員
⑦配偶者又は元配偶者 ⑧学校の先生 ⑨公的機関の相談員（市役所など）
⑩その他（ ）
⑪いない

24 あなたに用事があるときなど、子どもの世話を頼むことができる人は誰ですか。（主なものを3つまで）

- ①父母 ②友人・知人 ③親戚 ④近所の人 ⑤配偶者又は元配偶者 ⑥職場の同僚
⑦ファミリーサポートセンター ⑧放課後児童クラブ・放課後等児童デイサービス
⑨保育園の一時預かり・託児所 ⑩子どものショートステイ ⑪その他（ ）
⑫いない

25 直近の1年間で、親子でのレクリエーション活動（旅行・映画・スポーツなど）の機会がありましたか。

- ①あった ②なかった

25で「なかった」と答えた方に伺います。

26 どうしてなかったのか理由を教えてください。（主なものを3つまで）

- ①仕事が忙しかったから ②休みの日は体を休めたいから ③子どもが外出したがりないから
④親または子どもが病気がちだから ⑤子どもの部活や習い事などで忙しいから
⑥でかけるのが面倒だから ⑦経済的に余裕がないから
⑧その他（ ）

27 あなたの家庭では、子どもに何か習い事をさせていますか。

- ①ピアノなどの音楽 ②スイミングなどのスポーツ ③学習塾 ④習字・そろばん ⑤英会話
⑥その他（ ） ⑦特にない

27で習い事をさせていると答えた方に伺います。

28 子ども全員にかかる習い事の費用は1カ月当たりどのくらいですか。

- ①3万円以上 ②2～3万円 ③1～2万円 ④5千円～1万円 ⑤5千円未満

29 毎月決まった額の貯金をしていますか。

- ①している ②していない

30 子どもの誕生日やクリスマスにプレゼントをあげていますか。

- ①両方、必ずあげている ②どちらかは必ずあげている。 ③経済的にあげられないときがある
④必要でないからあげていない ⑤その他（ ）

31 子どもにお小遣いをあげていますか。

- ①毎月決まった額を渡している ②毎週決まった額を渡している
③必要なときに必要な金額を渡している ④特に渡していない
⑤その他（ ）

32 子どもの進学についてどのような希望がありますか。

- ①大学まで進んでほしい ②高校まで進んでほしい ③中学を卒業したら働いてほしい
④その他（ ）

33 子どもの高校や大学等への進学のための資金として考えているもの（行っているもの）はありますか。（該当するもの全て）

- ①学資保険 ②貯金 ③奨学金 ④教育ローン ⑤母子寡婦福祉資金 ⑥実家など親族からの援助
⑦その他（ ）

34 これまで、以下の支払いに困ったことがありますか。（該当するもの全て）

- ①給食費 ②中学・高校・大学等の入学準備 ③学用品の購入 ④家賃 ⑤電気・ガスなどの光熱水費
⑥スマートフォンなどの利用料 ⑦医療費 ⑧衣類の購入 ⑨食べ物の購入
⑩その他（ ） ⑪困ったことはない

34で困ったことがあると答えた方に伺います。

35 そのとき、最初にどこに支援を求めましたか。1つだけお答え下さい。

- ①元夫（妻）または子どもの父親（母親） ②実家などの親族 ③友人・知人
④市役所または社会福祉協議会
⑤その他（ ）

36 生活が苦しいときに最初に切り詰めるものはなんですか。1つだけ選んでください。

- ①外食や遊戯代 ②食べ物の購入 ③衣服代 ④子どもの学用品 ⑤子どものおもちゃなど
⑥子どもの医療費 ⑦あなたの医療費 ⑧その他（ ）

37 税金や公共料金（電気・ガス・水道）を滞納したことがありますか。

- ①一度もない ②これまでに数回ある ③毎月遅れて支払っている
④その他（ ）

38 次の福祉サービスやひとり親家庭等に対する支援制度を利用されたことがありますか。一つずつ選択して下さい。

1 ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

2 ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

3 子育て短期支援事業（ショートステイ）

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

4 母子生活支援施設

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

5 母子父子寡婦福祉資金（高校・大学等の進学費用の貸付制度）

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

6 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金事業

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

7 ファミリーサポートセンター・延長保育・病児保育の減免制度

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

8 生活支援課の学習支援事業

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

9 小・中学校の就学援助制度（学用品費・給食費などの免除制度）

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

10 ひとり親家庭の会（カンガルーくらぶ）

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

11 産後ケア事業

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

12 はぐくむF U J I 家事・育児サポート事業

- ①利用したことがある ②知っているが利用したことがない ③知らない

39 あなたが必要だと思う支援はどのようなことですか。

- ①保育園・幼稚園等や学校の費用の軽減 ②放課後等の学習支援 ③子どもの居場所づくり
④奨学金制度の充実 ⑤住宅確保支援 ⑥親の就業のための支援 ⑦医療や健康に関わるサポート
⑧生活保護や就学援助などの拡充 ⑨一時的に必要な資金を借りることができる制度 ⑩子ども食堂
⑪保育園への送迎サービス ⑫24時間365日相談できるシステム
⑬気軽に子どもを預けることができるサービス
⑭その他（ ）

以上で、質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

富士市行政資料番号
R5-62